様式１

報告番号

※教務課記入

学位記番号

※学務担当記入

**博士論文のインターネット公表確認書**

20　　年　　月　　日

千葉大学大学院　　　　研究科（府）長　　殿

　私が執筆した下記の博士論文の全文を、千葉大学学術成果リポジトリに登録し、インターネット上で公表することについて、下記のとおり確認します。

ふりがな

氏名（自署）　　　　　　　　　　　　　　　　印

**【学位授与者情報】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学生証番号(論文博士は不要) |  | 主指導教員（論文博士は推薦教員） |  |
| 学位の区分 | □課程　 　□論文 | 学位の種類 | 　博士（　　　　　　　　） |
| 所属部局(論文博士は提出部局) | 学府・研究科　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　専攻 |
| 論文題目 |  |
| 連絡先 | E-Mail |  | Tel |  |

※主指導教員（推薦教員）の確認・承諾を得たうえで提出して下さい。

※氏名の記入欄に関して、外国人の方は自署のみで構いません。

**（裏面へ）**

**【公表の承諾】**

* 博士の学位を授与された日から１年以内に論文の全文を公表することを承諾する。

|  |  |
| --- | --- |
| ※公表開始可能日 | ２０　　年　　　月　　　日 |

※特許申請等の理由で、学位を授与された日以降ただちに公表することは出来ないが、１年以内に公表可能となる場合は、公表開始可能日を記入して下さい。公表開始可能日以降、準備が整い次第公表します。（公表開始可能日欄に記載がない場合は、準備が整い次第公表します。）

* 下記　　　の事由により、論文の全文に代えて論文の要約の公表を希望する。

１．博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む。

　　公表可能日：　　　年　　月　　日

２．博士論文が、著作権保護、第三者に対して負う秘密保持の義務等の理由により、博士の学位を授与された日から１年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む。

　　公表可能日：　　　年　　月　　日

３．出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、知的財産の保護（特許出願の申請等）との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から１年を超えて生じる。

　　公表可能日：　　　年　　月　　日

４．博士論文の全部または一部が単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定である。

　以下の公表可能日を経過した場合には、他の理由がない限り、自動的に上記博士論文（全文）が公表されることを承諾します。

　　公表可能日：　　　年　　月　　日（学位授与日から最長5年以降）

５.　その他

全事由共通

|  |  |
| --- | --- |
| 事由の詳細 | 【未定の場合は、「やむを得ない事由」が解消した時点で速やかに、「報告書（様式２）」を学位審査研究科の学務担当に提出してください。】 |

※論文の全文に代えて論文の要約の公表を希望する場合は、各学府・研究科において承認を受ける必要があります。

※論文の要約の公表が承認された場合においても、本学は論文の全文を求めに応じて閲覧に供します。

**【提出先】**

各学府・研究科学務担当窓口